

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(平成30年5月9日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>ジュネットコミックス333 ピアスシリーズ518 心肺停止から始まる恋もある ♥</p> <p>平成30年4月15日発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体液、擬音が露骨すぎ、また、多すぎる。性交時の描写がリアルで激しく、性器も白抜きであるが、無修正に近い。卑わい感が非常に強く、青少年には不向きである。指定該当 ・ 性器を白く修整しているが、形状が露骨でその掲載が多すぎる事で、それが却って残虐性であったり、暴力的とも感じられる。指定該当 ・ 擬音、体液の描写が多く、性器は白抜きで修整されているが、卑わい感が強い。指定該当 ・ 修整はされていると思うが、性描写も多く指定やむなし。 ・ 白抜きされているものの、男性器の形状はほぼそのままであり、擬音、体液の描写も執拗で過剰。総合的に露骨な性表現となっており、卑わい感も強い。指定該当 ・ 絵が淡泊で、登場人物の肉体が貧弱な印象。擬音もそう派手ではなく、全編というほど性描写も多くない。コミカルなシーンもあり、内容的に深刻な影響を与えとも思えない。だが、性器は白抜きで修整されているとはいえ、形がわかり、挿入シーンも判別できる。体液についてはかなり卑わいな描写がなされており、青少年の性的感情に影響を与える。指定該当やむなし ・ 擬音はそれほどでもないが、体液描写は多い。修整方法も男性器の形状がわかるような白抜きで、卑わいな感じを与える。短編集のため、一冊の中での性交シーンの割合が高くなっている。指定やむなし ・ 全体的に性交シーンのアップが多く、擬音、体液等は目立つ所が多くある。性器部分は白抜きで修整されているが、逆に目立っている。指定やむなし ・ 結合部や性器こそ白抜き加工が施されているものの、体液、擬音も多く性交描写は極めて卑わい感が強くリアルな印象。ストーリー性や設定を鑑みても指定該当やむなし ・ 全体的にコメディっぽくバカバカしい展開で性的感情を刺激するかは微妙である。ただ、性器の修整が甘く性行為そのものがわかる表現であり、擬音、体液描写も多い。指定該当 ・ 人格否定は感じられない。暴力性はあまり無く、特にストーリー性も感じられない。全般的に軽く明るいタッチで描かれている。性器の修整については白抜きにされている。体液描写については修整が甘い部分も有るが、全般的に陰湿感は少ない。保留 ・ 修整は白抜きでされている。擬音、体液の描写が多いB L 作品を青少年が手にとるとは思わない。保留 ・ 人格否定と言える程の表現は無いと思われるし、内容が過激であるとも思えない。ただ、局所の消し方が大きく白く形状がわかるような形で、卑わいに感じるかもしれない。とはいえ全体的には許容の範囲であると思う。指定非該当 ・ 汁気が多めではあるが、割としっかり消されている。たくさん話を一冊にまとめているので性描写のページ数は多いとは思いますが、描き方が軽い。ストーリー性はある程度ある。人格否定的なところは少ない。指定非該当 ・ 男性同士のB L 作品でマニャクな内容であること、また、性器の修整も大きく人格否定や暴力的な描写がないことなどから青少年の健全な育成を阻害する程とは捉えられない。指定非該当

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(平成30年5月9日実施)

	図書名等	聴き取り内容
2	<p>ムークコミックス ビーエフシリーズ 異常愛執淫靡録1</p> <p>平成30年4月27日発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生が電車内での痴漢行為、自宅でのカメラの前でのレイプに近い性交、学校の保健室内での性描写など、全体的に見て人格否定の内容が多であり、青少年には不向きである。指定該当 ・痴漢行為など人格を否定する描写がほとんどで、青少年に悪影響を及ぼす可能性が高いと考える。また、性器の修整も甘いと思う。指定該当 ・性器の修整が甘く、擬音、体液描写も激しい。学校での場面もあり、青少年に悪影響を与えることが懸念される。指定該当 ・修整が甘いところもあり、性描写も多く指定やむなし ・人物設定が学生を想定させる設定となっている。性器描写については修整の甘い箇所が散見される。人格を否定する表現はあまり感じられないが、性描写を比較的全面に押し出す作品との印象が強い。指定やむなし ・暴力的というのではなく、じわじわと締め付けるように従わせるようにしている。首輪等を使う事で人格を否定するようなことをしている。電車の中での行為は痴漢なので犯罪になる。また、高校生同士ということも良くない。指定該当 ・男性器の修整が十分とはいえず、性的行為の描写も露骨で卑わい。人格を否定する性的行為の描写も多い。指定該当 ・擬音、体液の描写が激しい。男性器、肛門の修整が不十分で、ほぼ見えていて卑わいな感じを与えている。電車での痴漢、強引な性交、監禁、器具の使用、首輪等の拘束具の使用など人格を否定する性的行為も描かれている。指定該当 ・学校、異物挿入、強要、人格否定に近いような監禁等がある。消しはある程度、気を遣っているようにも見える。特に後半は性描写の量はさほど多くないとも思えるが、ストーリーというより監禁などのシーンを出すためのお膳立てになっている感は否めない。指定該当 ・性器の修整は気配りされているが、擬音、体液描写が多い。また、器具の使用や高校生同士の絡み、人格否定的な描写も見られる。指定やむなし ・性器の修整が甘く、器具使用及び人格否定もある。擬音、体液描写も多く、全体的に性描写が多い。指定該当 ・男性同士のBL作品でマニアックな内容だが、体液の描写、性交シーンの描写が多く、性器の修整も十分でないため、青少年への影響の大きさから、指定やむなし ・修整は行われているが、甘い。擬音、体液の描写が多い。タッチは現実性はないが、電車内での痴漢や犬との描写がある。指定該当 ・冒頭の電車内痴漢描写や性交シーンにおける擬音、体液描写、加えてストーリー設定を考へても卑わいかつハードな印象を持ったものの、全体を通して絵柄のゴチャゴチャ感と時折垣間見えるコミカルなタッチがその卑わい感を軽減させているとも思う。判断に迷う。保留 ・登場人物が高校生のうへ、描き方がさらに幼いため、青少年に卑近な話ととられがち。性器は一度描いて白い帯で消すという手法で描いていて、よく見ると性器が描いてあるとわかる。肛門もわかる程度に描いている。擬音、体液も細かく多く描かれている。だが、性器の白い帯が多く、判別しにくいというえに擬音、体液は細かすぎて絵を見にくくしており、全体的に何が描いてあるのか分りにくい。猥褻もあるのだが、コミカルで卑わいというより笑ってしまう。一部性器に修整の甘いものもあるが、幼児の性器のような絵で卑わい感はない。以上から卑わい感のある作品とは思えない。指定非該当